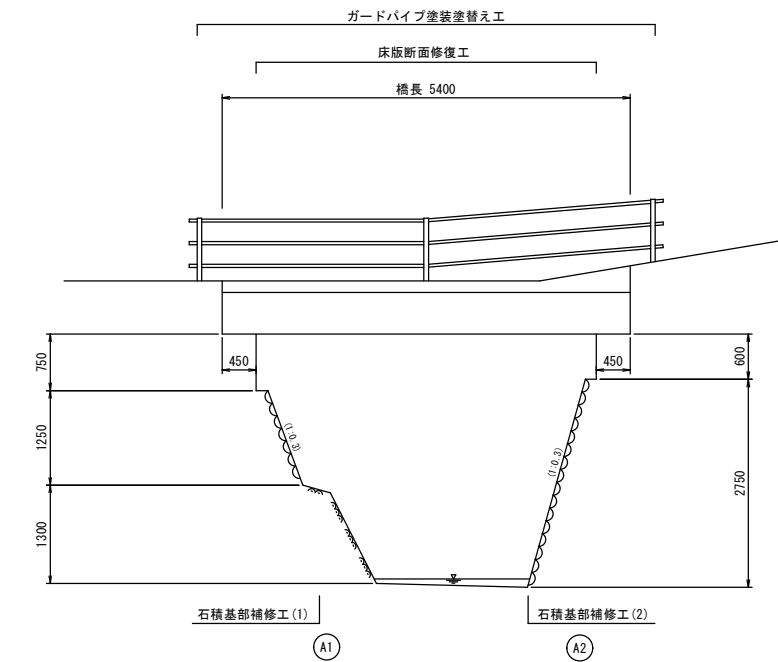


無名橋37 修繕工一般図

側面図

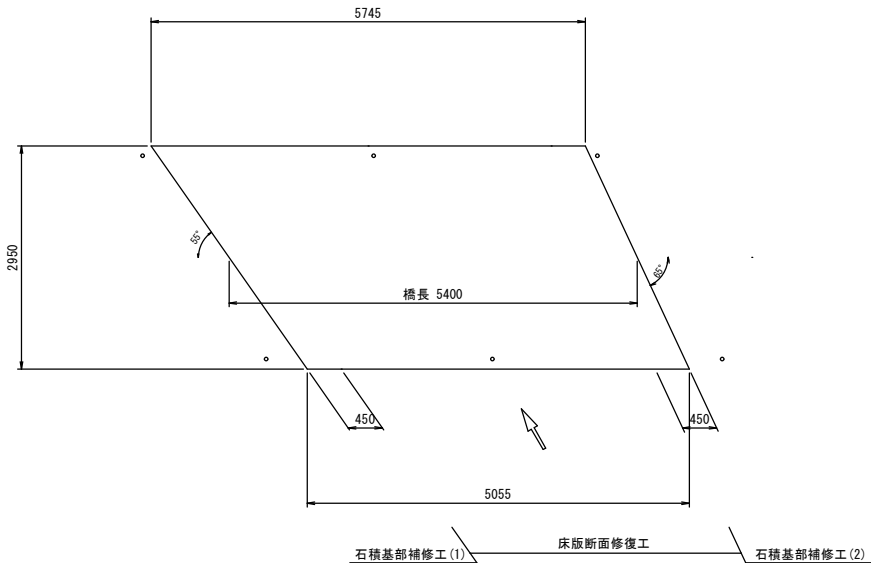
S=1:50



※（ ）内数値は河川断面方向を示す。

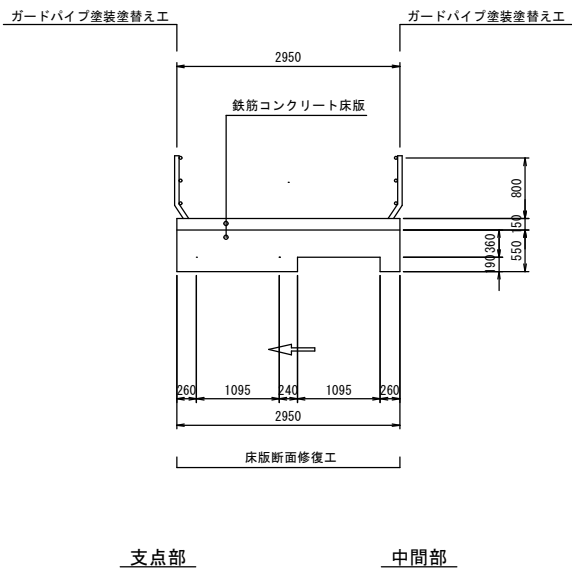
平面図

S=1:50



断面図

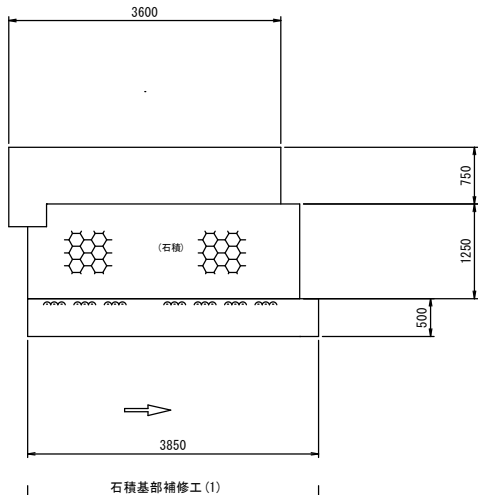
S=1:50



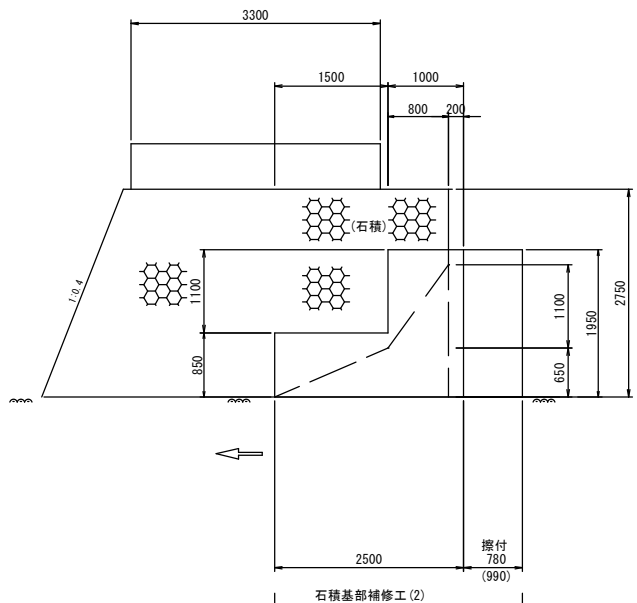
正面図

S=1:50

A1橋台



A2橋台



※（ ）内数値は埋戻しコンクリートの延長を示す。

設計条件

橋	橋 格	—
	上部工形式	単純RC床版桁
	橋 長	5.400m
	桁 長	5.400m
	支 間 長	—
	全 幅 員	2.950m
	有効幅員	(2.500)m
	斜 角	A1:55° 00′、A1:65° 00′
	床 版	鉄筋コンクリート床版
	舗 装	コンクリート舗装
下	支 承	—
	橋 台	枕 式 + 石 積
	橋 脚	—
基	基 礎	直 接 基 礎

- 注記 1) : 各種修復においては、施工前に詳細調査を行い、施工位置・寸法を確認すること。
施工位置・寸法が現状と不適合と判断される場合においては、別途監督員と協議をすること。
2) : 各種修復においては、既設鉄筋を切断しないようにすること。
3) : 各種修復においては、橋梁上に建設機械等の重量物の設置をとまう施工は行わないこと。
また、これによりがたい場合は別途監督員と協議すること。

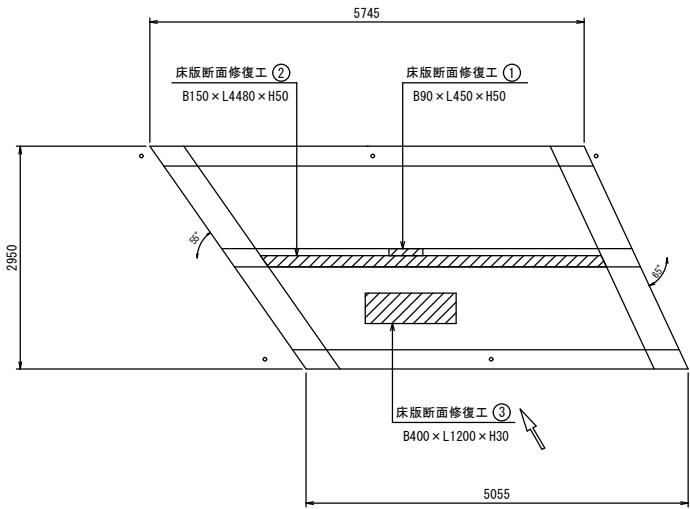
【無名橋37（市道大坪1号線 志摩町布施田地内）】				
工 事 名	令和3年度 第2A1志002号 道路メンテナンス事業 無名橋37 橋梁修繕工事			
図 面 名	修 繕 工 一 般 図			
年 月 日				
尺 度	図 示	図面番号	3	葉之内 1
会 社 名				
事務所名	志 摩 市			

修繕工詳細図(1)

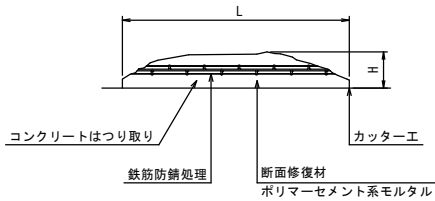
断面修復工

平面図

【下面】 S=1:50



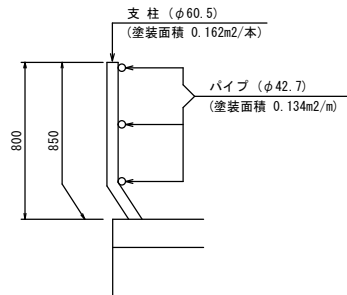
断面修復工詳細図



※ 断面修復については修復箇所の周囲にコンクリートカッターを使用すること。
なお、コンクリートカッター使用時に鉄筋を切断しないようにすること。
※ 断面損傷部の修復においては、施工前に詳細調査を行い、施工位置・寸法を確認すること。
施工位置・寸法が現状と不適合と判断される場合においては、別途監督員と協議をすること。
※ 鉄筋防錆処理について
カップワイヤー等で十分に鉄筋をケレンした後、水洗いを行い下地及び鉄筋を清掃する。
防錆材は鉄筋に均一に塗布する。

ガードパイプ塗装塗替え工

S=1:20



・塗装塗替え

下流側

支柱(曲部考慮)

H= 800(850)mm N=3

パイプ

L= 18.81m ((6.0+0.135×2)×3)

上流側

支柱(曲部考慮)

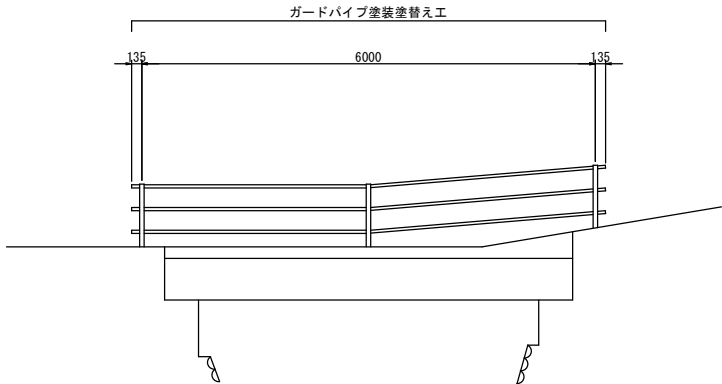
H= 800(850)mm N=3

パイプ

L= 18.81m ((6.0+0.135×2)×3)

側面図

S=1:50



注記 1) : 各種修復においては、施工前に詳細調査を行い、施工位置・寸法を確認すること。
施工位置・寸法が現状と不適合と判断される場合においては、別途監督員と協議をすること。
2) : 各種修復においては、既設鉄筋を切断しないようにすること。
3) : 各種修復においては、橋梁上に建設機械等の重量物の設置をとまう施工は行わないこと。
また、これによりがたい場合は別途監督員と協議すること。

【無名橋37（市道大坪1号線 志摩町布施田地内）】				
工事名	令和3年度 第2A1志002号 道路メンテナンス事業			
図面名	修繕工詳細図(1)			
年月日				
尺度	図示	図面番号	3	2
会社名	志摩市			
事務所名	志摩市			

修繕工詳細図(2)

平面図

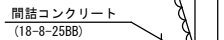
(現況)



石積基部補修工(1)

S=1:50

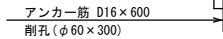
断面図


$$\times 600$$

コンクリート	150
(18-8-40BB)	

(m2)

正 面 图



平面図

(計画)

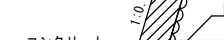


石積基部補修工(2)

S=1:50

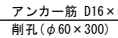
断面図(B)

同 所



(m2)

正面図



※()内数値は埋戻しコンクリートの延長を示す。

作業手順

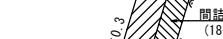
- ①間詰コンクリートの型枠を設置する。
- ②間詰コンクリートの打設を行う。
- ③床掘を行う。
- ④アンカー筋用の削孔を行う。
- ⑤アンカー筋を設置する。
- ⑥コンクリートの型枠を設置する。
- ⑦コンクリートの打設を行う。
- ⑧埋戻しコンクリートの打設を行う。(石積基底部補修工(2)の場合)

※安全対策に十分留意し、施工を行うこと。

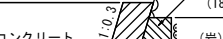
断面図(A)

(m2)

断面図(C)

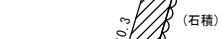
(m2)

断面図(B)



(m2)

断面図(C)



(m2)

注記 1)：各種修復においては、施工前に詳細調査を行い、施工位置・寸法を確認すること。
施工位置・寸法が現状と不適合と判断されたい場合には、別途監督員と協議をすること。

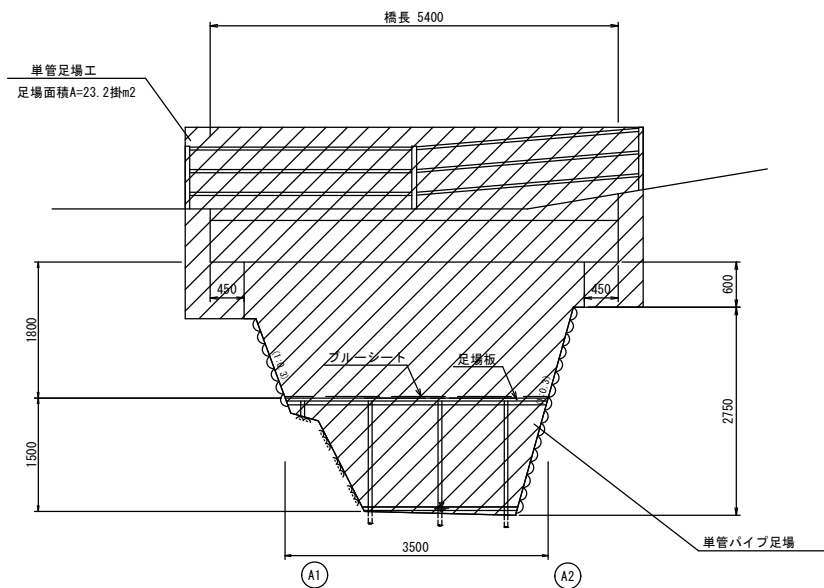
注記 2)：各種修復においては、既設鉄筋を切断しないようにすること。

注記 3)：各種修復においては、橋梁上建設機械等の重量物の設置をともなう施工は行わないこと。
また、これよりがたい場合は別途監督員と協議すること。

仮設足場工 参考図

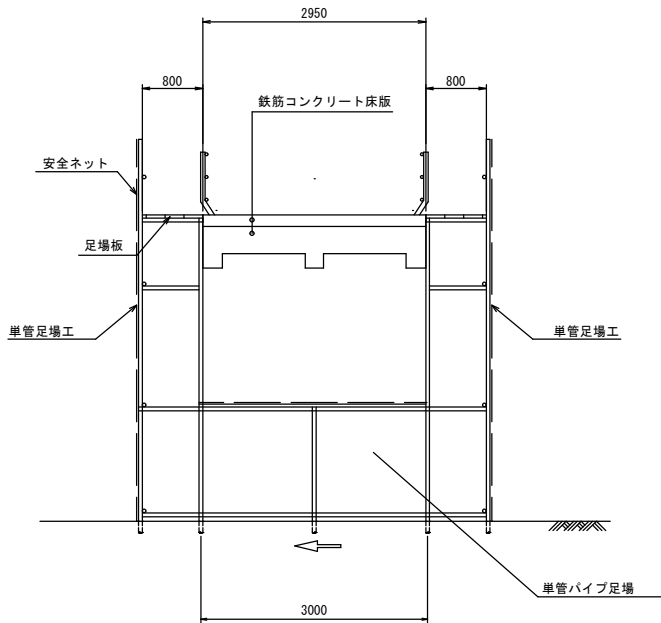
側 面 図

S=1:50



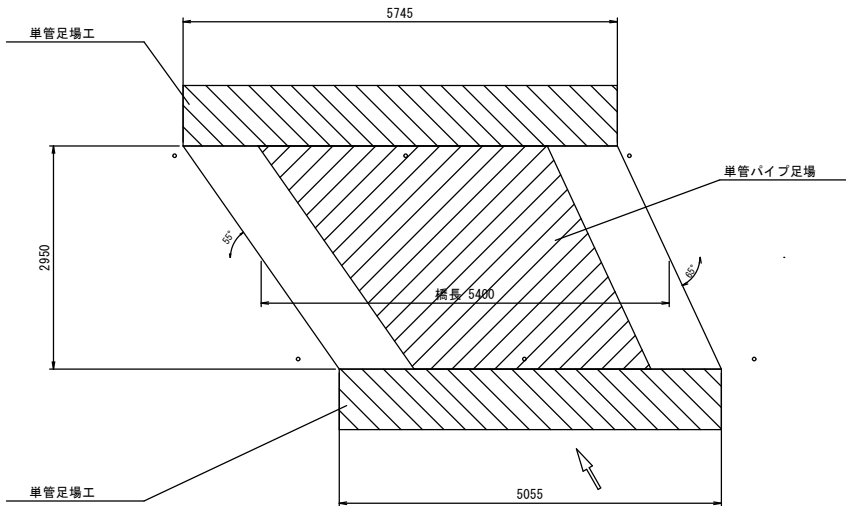
断 面 図

S=1:50



平 面 図

S=1:50



- 注記 1) : 各種修復においては、施工前に詳細調査を行い、施工位置・寸法を確認すること。
施工位置・寸法が現状と不適合と判断される場合においては、別途監督員と協議をすること。
- 2) : 各種修復においては、既設鉄筋を切断しないようにすること。
- 3) : 各種修復においては、橋梁上に建設機械等の重量物の設置をともなう施工は行わないこと。
また、これによりがたい場合は別途監督員と協議すること。

【無名橋37（市道大坪1号線 志摩町布施田地内）】				
工 事 名		令和3年度 第2A1志002号 道路メンテナンス事業 無名橋37 橋梁修繕工事		
図 面 名		仮設足場工 参考図		
年 月 日				
尺 度		図 示	図面番号	- 葉之内 -
会 社 名				
事務所名		志 摩 市		